

筑後カレッジ通信

令和2年
1月15日

受動と能動。先日、ネット記事「朝、ギリギリまで寝る…」と新聞記事「ラーニングピラミッド」という2つを読みました。「朝…」の記事には、間に合わせるために仕方なく起きるという受け身の姿勢。対照的に、朝やりたいことを決めて能動的に起床する。という2つの起き方は、受動型と能動型に分けることができるそうです。能動的に起きることは、心に余裕ができ心理学的に状況をコントロールしていることになり、自己効力感を高めることにつながるという内容でした。「朝起きる」行動は早いか遅いかで受動・能動と変換できるとするならば時間軸とも関連があるのでしょうか。また「ラーニングピラミッド」の記事には、どんな学習方法が脳に定着するか研究されているものです。脳への定着率が低いものとして講義を受ける。定着率が中間のものに、デモンストレーション。定着率が高いものは他人に教える。ことだそうです。これにも受動型と能動型に分けることができ、他人に教えることは能動型に分類されるそうです。

2つの記事より能動型の結果が良いような印象を受けました。デイにおける利用者の行動も受動と能動に関連した行動をしているのでしょうか？

デイに行く(能動)、行かされる(受動)。入浴する(能動)、入浴させられる(受動)。などでしょうか？入浴したくない方を誘導して入浴する場合に比べ、自ら入浴を希望して入浴する方は、生活の喜びや納得感が違うかもしれません。誘導や声かけは、「次、お風呂です！」というところを「お風呂沸いてますが、入りますか？」と言い換えることで、利用者に自己決定の要素が生まれるのかもしれませんが。さらに、利用者がやらない決定をしたことを見守ることも必要なことかもしれません。最後に、集団の体操や訓練は、能動型の要素が多いのでしょうか？今度考えてみます。

能動的

【読み方】
のうどうてき

【類語】
自発的、主体的

【意味】
自分から働きかけること

【対義語】
受動的、消極的

TRANS Biz



あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしく願いいたします。スマイルケアプランサービス。営業中です。



スマイルケアプランサービス
デイサービス筑後カレッジ
電話0944-33-1211

健康診断。見る前から結果は分かっています。血液検査では肝機能、コレステロール。腹囲、BMI、血圧の異常でしょう。食事や飲酒の制限をして運動をすると改善します。わかっているのにやれないことって多いです。でもできないのはなぜでしょう。習慣化って難しい。生きることも難しいことかもしれません。

平成7年1月17日。今月17日で阪神・淡路大震災から25年の節目を迎えます。筑後カレッジでも防災の知識、意識を少しでも深めるために勉強会を実施します。また防災の勉強では自助、共助、公助の言葉が聞こえてきます。「共助」は支援を必要としている人の情報をつかみ、互いに助け合うことで被害を最小限にしようというものです。これは「助け合いのしくみ」ことです。しくみの勉強も必要だと思いますが、「助け合いの心」の体験を聞いてみたいです。勇気ができるような心の体験を教えてください。